SNC-VB600/VB600B/VB630/VB635
SNC-VM600/VM600B/VM630
SNC-VM601/VM601B/VM631
SNC-EB600/EB630/EB600B/EB630B
SNC-EM600/EM601/EM630/EM631
SNC-CX600W/CX600
SNC-VM602R/VM632R
SNC-EM602R/EM632R
SNC-WR630/WR632/WR600/WR602
SNC-XM631/XM632/XM636/XM637
SNC-EB632R/EB602R
SNC-WR602C/WR632C
SNC-EM632RC/EM602RC
SNC-VB632D
SNC-VB640/VB642D/VM641/VM642R
SNC-EB640/EB642R/EM641/EM642R

リリースノート

Ver. 3.2.0

2020/8/31

Sony Corporation

変更履歴

#	リリース日	バージョン	主な変更内容及び、コメント
1	2012/10/11	1.1.1	SNC-VB600/VB630 初回リリース
2	2012/11/02	1.2.0	● SNC-VB600B/VM600/VM600B/VM601/ VM601B/VM630/VM631 初回リリース ● 新機能追加 ● 不具合修正
3	2012/11/30	1.3.0	● 新機能追加 ● 不具合修正
4	2013/02/04	1.3.1	● 不具合修正
5	2013/02/22	1.4.0	● 新機能追加 ● 不具合修正
6	2013/04/25	1.5.0	● 新機能追加 ● 不具合修正
7	2013/06/06	1.5.1	● 不具合修正
8	2013/07/11	1.6.0	● EB600/EM600/EM601/EB630/ EM630/EM631 初回リリース
9	2013/08/05	1.7.0	● SNC-EB630B/CX600W 初回リリース ● 新機能追加 ● 不具合修正
10	2013/08/23	1.7.0	● リリースノートのみ改訂 ● SNC-EB600B を対象機種から削除 ● 既知の問題点追加
11	2013/08/23	1.8.0	● SNC-VM602R/VM632R/EM602R/EM632R 初回リリース ● 不具合修正
12	2013/09/06	1.9.0	● SNC-EB600B 初回リリース ● 不具合修正
13	2013/10/01	1.9.2	● 不具合修正 ● 既知の問題点追加
14	2013/10/31	1.10.0	● 既知の問題点追加 ● SNC-VB635/WR630/WR632 初回リリース
15	2013/11/26	1.11.0	● SNC-CX600/WR600/WR602 初回リリース ● 新機能追加 ● 不具合修正
16	2014/1/22	1.12.0	● SNC-XM632/XM636/XM637 初回リリース ● 不具合修正
17	2014/4/25	2.1.0	● SNC-EB602R/EB632R 初回リリース ● 新機能追加 ● 不具合修正
18	2014/5/30	2.1.2	● 不具合修正 ● 設定における注意事項追加
19	2014/7/18	2.1.3	● 不具合修正
20	2014/8/6	2.2.0	● SNC-XM631 初回リリース

			● 新機能追加 ● 不具合修正
21	2014/8/27	2.2.1	● 新機能追加 ● 不具合修正
22	2014/9/8	2.3.0	● 性能改善 ● 既知の問題点追加
23	2014/10/20	2.3.1	● SNC-VB632D 初回リリース ● 新機能追加
24	2014/12/19	2.4.0	● 新機能追加 ● 不具合修正
25	2015/3/13	2.5.0	● 新機能追加 ● 不具合修正
26	2015/8/28	2.6.0	● 新機能追加 ● 不具合修正 ● 設定における注意事項追加 ● 既知の問題点追加
27	2015/10/28	2.6.1	● 不具合修正
28	2016/2/26	2.6.6	● 不具合修正
29	2016/05/31	2.7.0	● 新機能追加 ● 性能改善 ● 不具合修正
30	2016/11/25	2.7.2	● 新機能追加 ● 性能改善
31	2016/12/16	2.7.3	● 不具合修正
32	2017/3/9	2.8.0	● SNC-VB640/VB642D/VM641/VM642R/EB640/EB642R/EM641/EM642R 初回リリース ● 新機能追加 ● 性能改善 ● 不具合修正
33	2017/10/13	3.0.0	● 新機能追加 ● 性能改善 ● 不具合修正 ● 既知の問題点追加
34	2018/10/25	3.1.0	● 新機能追加 ● 性能改善 ● 不具合修正
35	2019/1/29	3.1.1	● 仕様変更
36	2020/08/31	3.2.0	● 仕様変更 ● 不具合修正

目 次

1. 本リリースバージョンについて 7
1.1. 全般について 7
1.2. ソフトウェアバージョンアップ方法について 12
1.3. 動作環境について 12
1.4. 互換性について 12
1.5. モデル毎のサポート機能について 12
2. 新規追加機能 15
2.1. Ver. 3.2.0 で追加した機能 15
2.2. Ver. 3.1.1 で追加した機能 15
2.3. Ver. 3.1.0 で追加した機能 15
2.4. Ver. 3.0.0 で追加した機能 15
2.5. Ver. 2.8.0 で追加した機能 15
2.6. Ver. 2.7.3 で追加した機能 15
2.7. Ver. 2.7.2 で追加した機能 15
2.8. Ver. 2.7.0 で追加した機能 15
2.9. Ver. 2.6.6 で追加した機能 15
2.10. Ver. 2.6.1 で追加した機能 15
2.11. Ver. 2.6.0 で追加した機能 16
2.12. Ver. 2.5.0 で追加した機能 16
2.13. Ver. 2.4.0 で追加した機能 16
2.14. Ver. 2.3.1 で追加した機能 16
2.15. Ver. 2.3.0 で追加した機能 16
2.16. Ver. 2.2.1 で追加した機能 17
2.17. Ver. 2.2.0 で追加した機能 17
2.18. Ver. 2.1.3 で追加した機能 17
2.19. Ver. 2.1.2 で追加した機能 17
2.20. Ver. 2.1.0 で追加した機能 17
2.21. Ver. 1.12.0 で追加した機能 18
2.22. Ver. 1.11.0 で追加した機能 18
2.23. Ver. 1.10.0 で追加した機能 18
2.24. Ver. 1.9.2 で追加した機能 18
2.25. Ver. 1.9.0 で追加した機能 19
2.26. Ver. 1.8.0 で追加した機能 19
2.27. Ver. 1.7.0 で追加した機能 19
2.28. Ver. 1.6.0 で追加した機能 19
2.29. Ver. 1.5.1 で追加した機能 19
2.30. Ver. 1.5.0 で追加した機能 19
2.31. Ver. 1.4.0 で追加した機能 19
2.32. Ver. 1.3.1 で追加した機能 20
2.33. Ver. 1.3.0 で追加した機能 20
2.34. Ver. 1.2.0 で追加した機能 20
3. 仕様変更 21
3.1. Ver. 3.2.0 で変更された仕様 21

3.2. Ver. 3.1.1 で変更された仕様 21
3.3. Ver. 3.1.0 で変更された仕様 21
3.4. Ver. 3.0.0 で変更された仕様 21
3.5. Ver. 2.8.0 で変更された仕様 21
3.6. Ver. 2.7.2 で変更された仕様 21
3.7. Ver. 2.7.0 で変更された仕様 21
3.8. Ver. 2.6.0 で変更された仕様 22
3.9. Ver. 2.5.0 で変更された仕様 22
3.10. Ver. 2.4.0 で変更された仕様 22
3.11. Ver. 2.3.0 で変更された仕様 23
3.12. Ver. 2.2.0 で変更された仕様 23
3.13. Ver. 2.1.0 で変更された仕様 23
3.14. Ver. 1.11.0 で変更された仕様 23
4. 改善した問題点 24
4.1. Ver. 3.2.0 で改善した問題点 24
4.2. Ver. 3.1.0 で改善した問題点 24
4.3. Ver. 3.0.0 で改善した問題点 25
4.4. Ver. 2.8.0 で改善した問題点 25
4.5. Ver. 2.7.3 で改善した問題点 25
4.6. Ver. 2.7.2 で改善した問題点 25
4.7. Ver. 2.7.0 で改善した問題点 25
4.8. Ver. 2.6.6 で改善した問題点 25
4.9. Ver. 2.6.1 で改善した問題点 26
4.10. Ver. 2.6.0 で改善した問題点 26
4.11. Ver. 2.5.0 で改善した問題点 26
4.12. Ver. 2.4.0 で改善した問題点 27
4.13. Ver. 2.2.1 で改善した問題点 27
4.14. Ver. 2.2.0 で改善した問題点 27
4.15. Ver. 2.1.3 で改善した問題点 28
4.16. Ver. 2.1.2 で改善した問題点 28
4.17. Ver. 2.1.0 で改善した問題点 28
4.18. Ver. 1.12.0 で改善した問題点 29
4.19. Ver. 1.11.0 で改善した問題点 29
4.20. Ver. 1.10.0 で改善した問題点 30
4.21. Ver. 1.9.2 で改善した問題点 30
4.22. Ver. 1.9.0 で改善した問題点 30
4.23. Ver. 1.8.0 で改善した問題点 30
4.24. Ver. 1.7.0 で改善した問題点 30
4.25. Ver. 1.6.0 で改善した問題点 30
4.26. Ver. 1.5.1 で改善した問題点 31
4.27. Ver. 1.5.0 で改善した問題点 31
4.28. Ver. 1.4.0 で改善した問題点 31
4.29. Ver. 1.3.1 で改善した問題点 32
4.30. Ver. 1.3.0 で改善した問題点 32
4.31. Ver. 1.2.0 で改善した問題点 32

5. 設定における注意事項について 33
5.1. ストリーミングにおける注意事項 33
5.2. 画像コーデック設定 33
5.3. センサー入力に関する注意事項 34
5.4. メモリーカードに関する注意事項 34
5.5. Edge Storage に関する注意事項 34
5.6. 動体検知・VMF（置き去り・持ち去り検知を含む）について 35
5.7. SNMP について 35
5.8. CGI を直接利用する時の注意点 36
5.9. 画質モード選択時の注意点 36
5.10. Wi-Fi 接続時のネットワーク設定について 36
5.11. 設定変更時の PTZ 位置に関する注意点 36
5.12. プリセット位置設定に関する注意点 36
5.13. 自動レート制御設定に関する注意点 36
5.14. HTTPS を使ったバージョンアップに関する注意点 36
5.15. FTP 静止画送信機能に関する注意点 36
5.16. I ピクチャ間隔の設定に関する注意点 37
6. 既知の問題点について 37
6.1. ユニキャスト・マルチキャストポート番号設定における注意事項 37
6.2. ソニー製レコーダーと接続してお使いになる場合の注意事項 37
6.3. Easy Focus 実行時の注意点 37
6.4. アナログビデオ出力に関する注意点 38
6.5. パノラマパネルを使った操作に関する注意点 38
6.6. ビデオ出力設定変更後のプライバシーマスク表示に関する注意点 38
6.7. Playback Viewer で再生する時の注意点 38
6.8. Plug-in free Viewer を使用する時の注意点 38
6.9. ビットレート制御モードを使用する時の注意点 38
6.10. SSL 機能を有効に設定している場合にアップグレードを行うときの注意点 39

1. 本リリースバージョンについて

1.1. 全般について

本バージョンは、Ver.3.2.0 になります。
各モデルと対応バージョンの関係を下記に示します。

	1.1.1	1.2.0	1.3.0	1.3.1	1.4.0	1.5.0	1.5.1	1.6.0	1.7.0	1.8.0	1.9.0	1.9.2
SNC-VB600	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-VB600B	―	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-VB630	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-VM600	―	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-VM600B	―	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-VM630	―	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-VM601	―	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-VM601B	―	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-VM631	―	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○
SNC-EB600	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	×	○
SNC-EB630	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	×	○
SNC-EM600	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	×	○
SNC-EM630	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	×	○
SNC-EM601	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	×	○
SNC-EM631	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	×	○
SNC-EB630B	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○	×	○
SNC-CX600W	―	―	―	―	―	―	―	―	○	×	○	○
SNC-VM602R	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	×	○
SNC-VM632R	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	×	○
SNC-EM602R	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	×	○
SNC-EM632R	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	×	○
SNC-EB600B	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	○
SNC-VB635	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-WR630	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-WR632	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-CX600	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-WR600	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-WR602	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-XM632	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-XM636	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-XM637	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-EB602R	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-EB632R	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
SNC-EM602RC	―	―	―	―	―	―	―	―	―	×	×	×
SNC-EM632RC	―	―	―	―	―	―	―	―	―	×	×	×
SNC-VB632D	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―

	1.10.0	1.11.0	1.12.0	2.1.0	2.1.2	2.1.3	2.2.0	2.2.1	2.3.0	2.3.1	2.4.0
SNC-VB600	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VB600B	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VB630	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VM600	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VM600B	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VM630	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VM601	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VM601B	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VM631	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EB600	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EB630	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EM600	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EM630	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EM601	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EM631	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EB630B	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-CX600W	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SNC-VM602R	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VM632R	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EM602R	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EM632R	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EB600B	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-VB635	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-WR630	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
SNC-WR632	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
SNC-CX600	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SNC-WR600	—	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
SNC-WR602	—	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
SNC-XM632	—	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-XM636	—	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-XM637	—	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EB602R	—	—	—	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-EB632R	—	—	—	○	○	○	○	○	×	×	○
SNC-XM631	—	—	—	—	—	—	○	○	×	×	○
SNC-WR602C	—	—	—	—	—	—	○	×	○	×	○
SNC-WR632C	—	—	—	—	—	—	○	×	○	×	○
SNC-EM602RC	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
SNC-EM632RC	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
SNC-VB632D	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○

	2.5.0	2.6.0	2.6.1	2.6.6	2.7.0	2.7.2	2.7.3	2.8.0	3.0.0	3.1.0	3.1.1
SNC-VB600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VB600B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VB630	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VM600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VM600B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VM630	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VM601	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VM601B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VM631	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EB600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EB630	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EM600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EM630	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EM601	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EM631	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EB630B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-CX600W	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VM602R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VM632R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EM602R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EM632R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EB600B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VB635	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-WR630	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-WR632	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-CX600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-WR600	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-WR602	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-XM632	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-XM636	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-XM637	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EB602R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EB632R	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-XM631	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-WR602C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-WR632C	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EM602RC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-EM632RC	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNC-VB632D	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	3.2.0
SNC-VB600	○
SNC-VB600B	○
SNC-VB630	○
SNC-VM600	○
SNC-VM600B	○
SNC-VM630	○
SNC-VM601	○
SNC-VM601B	○
SNC-VM631	○
SNC-EB600	○
SNC-EB630	○
SNC-EM600	○
SNC-EM630	○
SNC-EM601	○
SNC-EM631	○
SNC-EB630B	○
SNC-CX600W	○
SNC-VM602R	○
SNC-VM632R	○
SNC-EM602R	○
SNC-EM632R	○
SNC-EB600B	○
SNC-VB635	○
SNC-WR630	○
SNC-WR632	○
SNC-CX600	○
SNC-WR600	○
SNC-WR602	○
SNC-XM632	○
SNC-XM636	○
SNC-XM637	○
SNC-EB602R	○
SNC-EB632R	○
SNC-XM631	○
SNC-WR602C	○
SNC-WR632C	○
SNC-EM602RC	○
SNC-EM632RC	○
SNC-VB632D	○

	～ 2.7.3	2.8.0	3.0.0	3.1.0	3.1.1	3.2.0
SNC-VB640	－	○	○	○	○	○
SNC-VB642D	－	○	○	○	○	○
SNC-VM641	－	○	○	○	○	○
SNC-VM642R	－	○	○	○	○	○
SNC-EB640	－	○	○	○	○	○
SNC-EB642R	－	○	○	○	○	○
SNC-EM641	－	○	○	○	○	○
SNC-EM642R	－	○	○	○	○	○

○：対応しています　×：使用しないでください　－：バージョンアップ・ダウンできません
詳細内容については、ユーザーガイドおよび本リリースノートをご覧ください。

1.2. ソフトウェアバージョンアップ方法について

カメラのソフトウェアを本バージョンにバージョンアップするには SNC toolbox V.1.5.0 以降をお使いください。バージョンアップ手順につきましてはアプリケーションガイドをご覧ください。

1.3. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS
  Microsoft Windows 7(32bit 版、64 bit 版)
  Microsoft Windows 8.1 Pro(32bit 版、64 bit 版)
  Microsoft Windows 10 Pro(32bit 版、64 bit 版)
  動作検証済みエディション:
  Windows 7 : Ultimate、Professional
  Windows 8.1 : Pro
  Windows 10 : Pro

  Windows 8.1をお使いの場合は、デスクトップユーザーインターフェース（デスクトップUI）版のInternet Explorerをご利用ください。
- Web ブラウザ
  Microsoft Internet Explorer Ver 11
  Mozilla Firefox Ver.79.0 (プラグインフリービューアーのみ対応)
  Google Chrome Ver.84.0 (プラグインフリービューアーのみ対応)
- CPU
  SNC-CX600W/CX600:Intel Core2 CPU、2.13GHz 以上
  SNC-CX600W/CX600以外:Intel Core i7、2.8 GHz 以上
- メモリー
  2 GB 以上
- ディスプレイ
  1600 × 1200 画素以上

1.4. 互換性について

本バージョンでは、Ver.
1.5.1/1.6.0/1.7.0/1.8.0/1.9.0/1.9.2/1.10.0/1.11.0/1.12.0/2.1.0/2.1.2/2.1.3/2.2.0/2.2.1/2.3.0/2.3.1/2.4.0/2.5.0/2.6.0/2.6.1/2.6.6/2.7.0/2.7.2/2.7.3/2.8.0/3.0.0/3.1.0/3.1.1 において提供した機能に関し CGI コマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して Ver.
1.5.1/1.6.0/1.7.0/1.8.0/1.9.0/1.9.2/1.10.0/1.11.0/1.12.0/2.1.0/2.1.2/2.1.3/2.2.0/2.2.1/2.3.0/2.3.1/2.4.0/2.5.0/2.6.0/2.6.1/2.6.6/2.7.0/2.7.2/2.7.3/2.8.0/3.0.0/3.1.0/3.1.1 との互換性があります。

1.5. モデル毎のサポート機能について

本リリースノートに記載されている機能のうち、サポートしているモデルが限定され

る機能を以下に示します。

	ハイフレームレート選択	Edge Storage	オーディオ
SNC-VB600	対応	対応	対応
SNC-VB600B		対応	対応
SNC-VB630	対応	対応	対応
SNC-VM600	対応	対応	対応
SNC-VM600B		対応	対応
SNC-VM630	対応	対応	対応
SNC-VM601	対応	対応	対応
SNC-VM601B		対応	対応
SNC-VM631	対応	対応	対応
SNC-EB600			
SNC-EB630			
SNC-EM600			
SNC-EM630			
SNC-EM601			
SNC-EM631			
SNC-EB630B			
SNC-CX600W		対応	対応
SNC-VM602R	対応	対応	対応
SNC-VM632R	対応	対応	対応
SNC-EM602R			
SNC-EM632R			
SNC-EB600B			
SNC-VB635	対応	対応	対応
SNC-WR630	対応	対応	対応
SNC-WR632	対応	対応	対応
SNC-CX600		対応	対応
SNC-WR600	対応	対応	対応
SNC-WR602	対応	対応	対応
SNC-XM632		対応	対応(MIC入力のみ)
SNC-XM636		対応	対応(MIC入力のみ)
SNC-XM637		対応	対応(MIC入力のみ)
SNC-EB602R			
SNC-EB632R			
SNC-XM631		対応	
SNC-WR602C	対応	対応	対応
SNC-WR632C	対応	対応	対応
SNC-EM602RC			
SNC-EM632RC			

SNC-VB632D	対応	対応	対応
SNC-VB640	対応	対応	対応
SNC-VB642D	対応	対応	対応
SNC-VM641	対応	対応	対応
SNC-VM642R	対応	対応	対応
SNC-EB640	対応	対応	対応
SNC-EB642R	対応	対応	対応
SNC-EM641	対応	対応	対応
SNC-EM642R	対応	対応	対応

2. 新規追加機能

2.1. Ver. 3.2.0 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.2. Ver. 3.1.1 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.3. Ver. 3.1.0 で追加した機能

- ONVIF Profile T に対応しました
  ONVIF Device Test Tool Version 18.06 SR1 で適合検証を行っています

2.4. Ver. 3.0.0 で追加した機能

- TLS 1.2 に対応しました
- 機器情報のダウンロード機能に対応しました

2.5. Ver. 2.8.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました
  SNC-VB640/VB642D/VM641/VM642R/EB640/EB642R/EM641/EM642R

2.6. Ver. 2.7.3 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.7. Ver. 2.7.2 で追加した機能

- ONVIF Ver. 16.07 対応
  ONVIF Device Test Tool Version 16.07 で適合検証を行っています

2.8. Ver. 2.7.0 で追加した機能

- プライバシーマスキングのズーム倍率に連動した表示制御に対応しました
  対象モデル：SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
- フル HD デュアルストリームモードに対応しました
  対象モデル：
  SNC-VB630/VB632D/VB635/VM630/VM631/VM632R/
  SNC-EB630/EB630B/EM630/EM631/EM632R/EM632RC/EB632R/
  SNC-XM631/XM632/XM636/XM637/
  SNC-WR630/WR632/WR632C
- Windows 10 に対応しました

2.9. Ver. 2.6.6 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.10. Ver. 2.6.1 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.11. Ver. 2.6.0 で追加した機能

- Iピクチャ間隔のフレーム単位での設定に対応しました
- ONVIF マルチキャスト配信機能に対応しました
- カメラ妨害検知機能で検知感度を選択できるようにしました、CGI のみ対応しています

2.12. Ver. 2.5.0 で追加した機能

- RTSP の pause 機能に対応しました
- RTSP の認証機能に対応しました
- 設定画面で Zoom 位置設定に対応しました
  対象モデル:
  SNC-VM600/VM600B/VM601/VM601B/VM630/VM631
  SNC-EM600/EM601/EM630/EM631
  SNC-VM602R/VM632R/EM602R/EM632R
  SNC-EB602R/EB632R/EM602RC/EM632RC
  SNC-VB632D

2.13. Ver. 2.4.0 で追加した機能

- プライバシーマスキングの設定個数を 12 個から 24 個に拡張しました
  対象モデル:SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
- スーパーインポーズのロゴの使用可能な最大サイズを 640x120 まで拡張しました
- 画像回転(90 度, 270 度)、ミラーリングに対応しました
  対象モデル: SNC-VB600/VB600B/VB630/VB635
  SNC-EB600/EB600B/EB630/EB630B
  SNC-CX600W/CX600
  SNC-VM600/VM600B/VM601/VM601B/VM630/VM631
  SNC-EM600/EM601/EM630/EM631
  SNC-XM632/XM636/XM637/XM631
  SNC-VM602R/VM632R/EM602R/EM632R
  SNC-EB602R/EB632R/EM602RC/EM632RC
  SNC-VB632D
- ビデオコーデック設定、オーディオ設定をONVIFのメディアプロファイルに反映できるようにしました
- ONVIF IP Filtering 機能に対応しました
- カメラ妨害検知機能の自動停止に対応しました
- 設定画面のプレビュー映像停止機能に対応しました

2.14. Ver. 2.3.1 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-VB632D
- 欧州無線法規 ETSI R&TTE EN 300 328 v1.8.1 に対応しました。
  対象モデル:SNC-CX600W

2.15. Ver. 2.3.0 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.16. Ver. 2.2.1 で追加した機能

- e-バリフォーカル機能に対応しました
  対象モデル： SNC-VB600/VB600B/VB630/VB635
  SNC-EB600/EB600B/EB630/EB630B
  SNC-CX600W/CX600
  SNC-VM600/VM600B/VM601/VM601B/VM630/VM631
  SNC-EM600/EM601/EM630/EM631
  SNC-XM632/XM636/XM637/XM631
  SNC-VM602R/VM632R/EM602R/EM632R
  SNC-EB602R/EB632R

2.17. Ver. 2.2.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-XM631
- スーパーインポーズの機能拡張を行いました
  - ✧ アジマス表示
  - ✧ エリアタイトル表示
  - ✧ ズーム倍率表示選択
  対象モデル：SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
  - ✧ フォントサイズ選択
  対象モデル：全機種
- Highlight Compensation（HLC）機能に対応しました
  対象モデル：SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
- シャッタースピードの下限範囲設定を拡張しました
  対象モデル：SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
- 水平チルト制限機能に対応しました
  対象モデル：SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
- Solid PTZ の Home Position 機能に対応しました
- ログ機能を拡張しました
- UPnP による discovery 機能に対応しました
- メール暗号化に対応しました
- フォーカスリフレッシュ機能に対応しました
- 設定画面において、トルコ語・ポーランド語に対応しました

2.18. Ver. 2.1.3 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.19. Ver. 2.1.2 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.20. Ver. 2.1.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-EB602R、EB632R
- HTTP アラーム通知機能に対応しました。
- FTP 静止画送信機能に対応しました。

- SD カードのメンテナンス情報通知機能に対応しました。
  ただし、メンテナンス情報取得機能に対応した SD カードが対象となります。
- ONVIF の Event 機能に対応しました。
- デイ／ナイトの切り替わりに連動して Easy Focus を実行可能にしました。
  対象モデル：SNC-VB600/VB600B/VB630/VB635
  SNC-EB600/EB630
  SNC-VM600/VM600B/VM630/VM601/VM601B/VM631
  SNC-EM600/EM601/EM630/EM631
  SNC-VM602R/VM632R
  SNC-EM602R/EM632R
  SNC-EB602R/EB632R
- 設定画面において、露出のモードとして、「シャッター優先」、「アイリス優先」、「手動」を選択可能にしました。
  対象モデル：SNC-WR600/WR602/WR630/WR632
- 画像コーデックの設定を H.264、ビットレート制御モードの設定を VBR にそれぞれ選択した場合に最大ビットレートの制限を設定可能にしました。

2.21. Ver. 1.12.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-XM632、SNC-XM636、SNC-XM637
- カメラ動作モードの選択機能（25fps/30fps）に対応しました。
  管理者設定メニューの「ビデオ／オーディオメニュー」の「画像タブ」で設定変更できます。
  対象モデル：SNC-CX600/CX600W

2.22. Ver. 1.11.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-CX600、SNC-WR600、SNC-WR602
- 自動レート制御機能に対応しました。
  自動レート制御を設定するには以下の内容を確認してください。
  - ✧ 次のビデオコーデック設定にしてください。
    - ➢ [画像コーデック]を[H.264]にしてください。
    - ➢ [CBR]を[オフ]にしてください。
  - ✧ ライブビューアー画面で接続方法を[ユニキャスト]にしてください。
- 白色 LED をテスト点灯できるようにしました。
  対象モデル： SNC-CX600W/CX600
- 霧除去機能に対応しました。
  対象モデル： SNC-WR630/WR632/WR600/WR602

2.23. Ver. 1.10.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-VB635、SNC-WR630、SNC-WR632

2.24. Ver. 1.9.2 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.25. Ver. 1.9.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-EB600B

2.26. Ver. 1.8.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-VM602R、SNC-VM632R、SNC-EM602R、SNC-EM632R

2.27. Ver. 1.7.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-EB630B、SNC-CX600W
- シーン毎の最適な設定を選択する画質モード選択をサポートしました。
  対象モデル:SNC-VB600,VB600B,VB630,VM600,VM600B,VM630,VM601,VM601B,VM631
- Edge Storage 対応モデルにおいて、カメラに記録した動画をプレイバックビューアーにて検索・再生・エクスポートする機能を追加しました。
  お使いいただく前に 5.5 プレイバックビューアーに関する注意点 をご確認ください。

2.28. Ver. 1.6.0 で追加した機能

- 以下のモデルに対応しました。
  SNC-EB600、SNC-EB630、SNC-EM600、SNC-EM630、SNC-EM601、SNC-EM631
- シーン毎の最適な設定を選択する画質モード選択をサポートしました。

2.29. Ver. 1.5.1 で追加した機能

本バージョンにおける機能追加はありません。

2.30. Ver. 1.5.0 で追加した機能

- Windows 8 および Internet Explorer 10 に対応しました。
- オーディオアップロード機能において AAC を選択できるようにしました。
  AAC をお使いになる場合、SNC audio upload tool V5.1 以降をお使いください。
- Edge Storage 静止画機能において、定期記録・アラーム記録のスケジュール・上書き記録を設定できるようにしました。
- アラーム出力にタイマー実行を選択できるようにしました。
- SNMP (V1,V2c,V3) に対応しました。
- ホワイトバランスモード ATW/ATW-PRO において R/B ゲインオフセットを設定できるようにしました。
- スケジュール設定画面において、すべての日に同じスケジュールを設定できるようにしました。

2.31. Ver. 1.4.0 で追加した機能

- ONVIF Profile S に対応しました。
- Edge Storage 静止画機能を追加しました。
- RTSP over HTTP に対応しました。
- IPv6 に対応しました。
- QoS 機能を追加しました。

- アクセス制限機能を追加しました。
- 持ち去り検知・置き去り検知を VMF に追加しました。
- 顔検知機能を追加しました。
- IEEE 802.1X 設定用 GUI をサポートしました。
- オートアイリス応答速度設定を追加しました。
  対象モデル：SNC-VB630,VB600,VB600B
- ワイドダイナミックレンジ設定方法を変更しました。

2.32. Ver.1.3.1 で追加した機能

本バージョンで新たに追加した機能はありません。

2.33. Ver.1.3.0 で追加した機能

- SSL 機能に対応しました。中国仕向けモデルでは本機能を使用できません。
- IEEE 802.1X 機能に対応しました。
- H.264 と VBR(CBR オフ)を組み合わせて使用する場合に、画質を設定できるように仕様変更しました。
- スーパーインポーズにロゴ・イベント表示・コーデック情報表示を追加しました。
- メール送信の認証設定として APOP・CRAM-MD5 を追加しました。中国仕向けモデルでは本機能を使用できません。
- 音声ファイル再生機能を追加しました。
- オーディオアップロード機能を追加しました。
- Source-Specific Multicast (SSM)に対応しました。

2.34. Ver.1.2.0 で追加した機能

- ビューアーおよび設定画面にロシア語・インド語・ベトナム語・タイ語の 4 言語を追加し全部で 14 言語対応になりました。対応している言語は、英語・日本語・フランス語・スペイン語・ドイツ語・イタリア語・中国語・中国語(繁体字)・韓国語・ポルトガル語・ロシア語・インド語・ベトナム語・タイ語-となります。
- Smartphone viewer に対応しました。
- RTSP over TCP に対応しました。
- VMF フィルターとして通過検知、侵入検知をサポートしました。
- ブレ補正をサポートしました。
- ソリッド PTZ 機能をサポートしました。
- Edge Storage の上書き記録に対応しました。
- アクション出力の実行条件として、VMF を追加しました。
- スケジュール(メール送信・アラーム出力・Edge Storage・デイ/ナイト)機能をサポートしました。

3. 仕様変更

3.1. Ver. 3.2.0 で変更された仕様

- セキュリティを強化しました

3.2. Ver. 3.1.1 で変更された仕様

- HTTP マルチキャストストリーミングにおいて、起動コマンド発行ごとにストリーミングセッション参加者数をカウントアップし、その参加者上限を 4,096 としていましたが、クライアントが繰り返し起動コマンドを発行した場合に上限に到達しエラー応答を返却するため、この上限を撤廃しました。

3.3. Ver. 3.1.0 で変更された仕様

- セキュリティを強化しました
- ONVIF 接続を含む RTSP マルチキャストストリーミングのセッション数上限を、32 から 200 に変更しました
  なお HTTP マルチキャストストリーミングのセッション数上限は 4,096 から変更ありません
- タイムゾーン情報を 2018 年 5 月時点のものに更新しました

3.4. Ver. 3.0.0 で変更された仕様

- セキュリティを強化しました
- クライアント認証を使用する場合に、個人用の証明書のインポート方法を一部変更しました
  個人用の証明書をインポートする際は、途中で表示される「このキーをエクスポート可能にする」にチェックを入れてインポートを行ってください。このチェックを入れることで、ローカルコンピューター上で、秘密鍵と証明書のエクスポートを行うことができるようになります。エクスポートしたファイルが流出しないよう、厳重に管理するようにして下さい。
- 一旦、本バージョンにアップデートを行うと、ダウングレードができません

3.5. Ver. 2.8.0 で変更された仕様

- セキュリティを強化しました
  【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください
- WEBUI の IPELA ロゴを削除しました
- Capability-video.cgi の応答速度を改善しました

3.6. Ver. 2.7.2 で変更された仕様

- セキュリティを強化しました
- 最近規定された下記の ONVIF HardwareFailure イベントの XML データ構造に適応させました
  - FanFailure
  - StorageFailure

3.7. Ver. 2.7.0 で変更された仕様

- パン・チルト・ズーム動作時のプライバシーマスキング表示位置追従精度を改善しました

対象モデル：SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C

- CLOUD 機能を削除しました。
- セキュリティを強化しました
- 互換性向上のため ONVIF メタデータの解釈を変更し、出力仕様を一部変更しました
- HTTP マルチキャストストリーミングのセッション数の上限を 4,096 に変更しました

3.8. Ver. 2.6.0 で変更された仕様

- RTSP タイムアウトの初期値を “0” 秒（タイムアウト無し）から “60” 秒に変更しました。

3.9. Ver. 2.5.0 で変更された仕様

- View DR の設定変更時に、ビデオコーデック設定を保持するようにしました
  対象モデル： SNC-VB600/VB600B/VB630/VB635
  SNC-EB600/EB600B/EB630/EB630B
  SNC-VM600/VM600B/VM601/VM601B/VM630/VM631
  SNC-EM600/EM601/EM630/EM631
  SNC-XM632/XM636/XM637/XM631
  SNC-VM602R/VM632R/EM602R/EM632R
  SNC-EB602R/EB632R/EM602RC/EM632RC
  SNC-VB632D

3.10. Ver. 2.4.0 で変更された仕様

- アクション出力設定において、プリセット呼び出しの実行条件から「カメラ妨害検知」を削除しました。
  Ver 2.4.0 以降にバージョンアップする場合、実行条件として「カメラ妨害検知」を選択している時は、他の選択肢に変更してからバージョンアップを実施してください。
  万が一、変更前にバージョンアップを実施してしまった場合は、プリセット位置、プリセットツアーの設定が初期化されてしまうため、PC に保存されている設定ファイルの「EventPresetPositionTriggerN」(N : 1 - 8) の値を「tampering」から「sensor1」に変更し、設定呼び出しを実施してください。
  以下の機種が対象です。
  SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
- SSL 機能が使用するプロトコルの設定値について、工場出荷設定値を ″SSL Ver.2/Ver.3/TLS Ver1.0″ から″TLS Ver.1.0″ へ変更しました。なお、SSL機能が使用するプロトコルの設定値は、下記 CGI コマンドにより変更することが出来ます。
  - TLS Ver.1.0 に設定する場合:
    https://ip_adr/command/ssl.cgi?SSLProtocol=TLSv10
  - SSL Ver.2/SSL Ver.3/TLS Ver.1.0 に設定する場合:
    https://ip_adr/command/ssl.cgi?SSLProtocol=SSLv23
  - 設定内容を確認する場合:
    https://ip_adr/command/inquiry.cgi?inq=ssl

  【ご注意】
  「SSL 3.0 を選択する場合は、外部との接続がなく、かつセキュアなネットワーク環境でご使用ください。」

3.11. Ver. 2.3.0 で変更された仕様

- 最低被写体照度の性能改善、及び画質改善を行いました
  以下の機種が対象です。
  SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C

3.12. Ver. 2.2.0 で変更された仕様

- クライアントとカメラの時刻がずれている時でも ONVIF 接続できるように対応しました

3.13. Ver. 2.1.0 で変更された仕様

- 画像コーデックの設定画面において、「CBR」の「オン」／「オフ」設定の代わりに「ビットレート制御モード」にて「CBR」／「VBR」／「自動レート制御」の選択を行う設定になりました。
- EdgeStorage 機能において、最大記録件数を 4,000 件に拡張しました。
- メール送信機能において、SMTP ポート番号の設定範囲を 1 ～ 65535 に拡張しました。

3.14. Ver. 1.11.0 で変更された仕様

- アクション出力設定において、Edge Storage 動画の実行条件に人感センサーを選択している場合、ポストアラームの記録開始をセンサーが検知されなくなった時点からに変更しました。
  以下の機種が対象です。
  SNC-CX600/CX600W
- アクション出力設定において、白色 LED の実行条件に人感センサーを選択している場合、センサーが検知中でも明るさの変化があった場合には白色 LED の状態（点灯または消灯）を変更するようにしました。
  以下の機種が対象です。
  SNC-CX600/CX600W

4. 改善した問題点

4.1. Ver. 3.2.0 で改善した問題点

- ONVIF Profile T で動体検知（Motion Region Detector）の設定ができない、または、設定ができても正しくイベントが発生しない場合がある問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.3.1.0 からの問題、Ver.3.2.0 にて対策）
- FTP 静止画送信機能で定期送信をしていると、途中で送信が止まる場合がある問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.2.7.2 からの問題、Ver.3.2.0 にて対策）
- プライバシーマスキングを複数設定すると、カメラが再起動する場合がある問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.2.7.2 からの問題、Ver.3.2.0 にて対策）
- Ver 3.1.0/3.1.1 へバージョンアップすると、ONVIF でストリーミングできない問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.3.1.0 からの問題、Ver.3.2.0 にて対策）
- Digest 認証を有効にして RTSP ストリーミングを行うと、途中で切断されてしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.2.5.0 からの問題、Ver.3.2.0 にて対策）
- HPoE に対応しているカメラで、一部の HPoE HUB を使用するとカメラが起動しない問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.9.2 からの問題、Ver.3.2.0 にて対策）

4.2. Ver. 3.1.0 で改善した問題点

- プリセットツアー中にPTZ操作を行うと、タイミングによって、操作終了後に設定した再開時間を待たずに、次のプリセット位置に移動してしまうことがある問題がありましたので、修正しました
  （Ver.1.10.0 からの問題、Ver.3.1.0 にて対策）
- RTSP マルチキャストのビデオポート番号、あるいはオーディオポート番号を変更後、マルチキャストSSM接続を行うと、RTSPマルチキャストのポート番号が初期値に戻る問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.2.6.0 からの問題、Ver.3.1.0 にて対策）
- RTSP 接続時に、映像が表示されずオーディオのみの接続になることがある問題がありましたので、修正しました
  （Ver.1.3.0 からの問題、Ver.3.1.0 にて対策）
- SNMP 利用時に、再起動することがある問題がありましたので、修正しました
  （Ver.1.5.0 からの問題、Ver.3.1.0 にて対策）
- SSL 接続時に、再起動することがある問題がありましたので、修正しました
  （Ver.1.3.0 からの問題、Ver.3.1.0 にて対策）
- パケットロスが頻発する環境において RTSP マルチキャストストリーミングを使用すると、カメラが再起動することがある問題がありましたので、修正しました
  （Ver.2.6.0 からの問題、Ver.3.1.0 にて対策）
- 認証モードを Digest 認証に設定した状態でビューアー認証をオンにした場合、RTSP ストリーミング再生が一定時間後に停止してしまうことがある問題がありましたので、修正し

ました
（Ver.2.5.0 からの問題、Ver.3.1.0 にて対策）

4.3. Ver. 3.0.0 で改善した問題点

- SNC-XM631 で ONVIF のイベント取得ができない問題がありましたので、修正しました。
（Ver.2.2.0 からの問題、Ver.3.0.0 にて対策）

- メール送信機能を使用する時に、添付ファイルが正しく送信されない場合がありましたので、修正しました。
（Ver.2.7.0 からの問題、Ver.3.0.0 にて対策）
- Ver 1.12.0 から特定のバージョン（2.7.2/2.7.3/2.8.0）へバージョンアップができない問題がありましたので、修正しました。
（Ver.2.7.2 からの問題、Ver.3.0.0 にて対策）
- カメラの電源投入後、RTSP ストリーミングを取得することがまれにできない場合がありましたので、修正しました。
（Ver.2.6.0 からの問題、Ver.3.0.0 にて対策）

4.4. Ver. 2.8.0 で改善した問題点

- RTSP over TCP ストリーミング接続中に LAN の切断が繰り返し発生する環境で、まれにカメラが再起動する問題がありましたので、修正しました。
（Ver.1.2.0 からの問題、Ver.2.8.0 にて対策）

4.5. Ver. 2.7.3 で改善した問題点

- 動体検知の結果が alarmdata へ正しく反映されない問題がありましたので、修正しました。
（Ver.2.4.0 からの問題、Ver.2.7.3 にて対策）

4.6. Ver. 2.7.2 で改善した問題点

- 本バージョンにおける改善した問題点はありません。

4.7. Ver. 2.7.0 で改善した問題点

- カメラの通信が突然切断される問題がありましたので、修正しました。
（Ver.1.1.0 からの問題、Ver.2.7.0 にて対策）
- RTP のストリーミング接続において、暗い映像を取得中に、まれにカメラが再起動する問題がありましたので、修正しました。
（Ver.1.1.0 からの問題、Ver.2.7.0 にて対策）
- RTP ストリーミングのセッションが切断されずに、まれに残ってしまう問題がありましたので、修正しました。
（Ver.1.1.0 からの問題、Ver.2.7.0 にて対策）

4.8. Ver. 2.6.6 で改善した問題点

- PC からカメラにアクセスした時に、ActiveX（Viewer/Playback Viewer/動体検知/顔検知）がインストールできない問題がありましたので、修正しました。
（Ver.2.6.0 からの問題、Ver.2.6.6 にて対策）

4.9. Ver. 2.6.1 で改善した問題点

- RTP over RTSP でのストリーミング接続において、まれに途中で通信が切断されてしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.2.0 からの問題、Ver.2.6.1 にて対策）
- 最初にユニキャストストリーミングの接続を開始し、続けてマルチキャストストリーミングの接続を行うと、2 本目以降のマルチキャストストリーミング接続ができなくなってしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.2.6.0 からの問題、Ver.2.6.1 にて対策）
- 画像コーデックを“JPEG”、ビットレート制御モードを“CBR”に設定して RTP ストリーミングを行うと、映像が白っぽくなってしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.1.0 からの問題、Ver.2.6.1 にて対策）
- 電源断を行った後に、再度電源を入れなおすと、ごくまれに再起動を繰り返すことがあるという問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.7.0 からの問題、Ver.2.6.1 にて対策）

4.10. Ver. 2.6.0 で改善した問題点

- Edge Storage 動画の実行条件を“ネットワーク切断”に設定して記録を行う時、ストリーミングが切断されてから記録開始するまでの間、及び、記録停止してからストリーミング接続が開始されるまでの間に記録欠損が生じる場合がありましたので、修正を行いました。
  （Ver.1.2.0 からの問題、Ver.2.6.0 にて対策）
- Edge Storage 動画の実行条件を“タイマー記録”に設定して常時記録を行い、クライアントから RTSP over TCP で再生を行うと、記録が停止する場合がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.2.0 からの問題、Ver.2.6.0 にて対策）
- プライバシーマスキングを設定した後でカメラの再起動を行うと、プライバシーマスキングのサイズが設定時より大きくなる問題がありましたので、修正しました。
  下記のモデルが対象になります。
  SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
  （Ver.1.10.0 からの問題、Ver.2.6.0 にて対策）
- カメラ妨害検知機能を有効にして PTZ 操作を繰り返すと、映像が乱れる問題がありましたので、修正しました。
  下記のモデルが対象になります。
  SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
  （Ver.1.10.0 からの問題、Ver.2.6.0 にて対策）
- RTSP マルチキャストストリーミングを使用する場合、最初に接続したセッションを切断せずに次の接続と再生を実行すると、カメラからの応答が無くなる問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.1.0 からの問題、Ver.2.6.0 にて対策）
- Viewer 認証を無効に設定しても Viewer で認証を求められる問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.2.4.0 からの問題、Ver.2.6.0 にて対策）

4.11. Ver. 2.5.0 で改善した問題点

- Ver 2.3.0 から最大輝度レベルが低くなっていた問題を修正しました。さらに、この修正

に伴う画質調整、及び色ノイズ改善を行いました。
下記のモデルが対象になります。
SNC-WR600/WR602/WR630/WR632/WR602C/WR632C
（Ver.2.3.0 からの問題、Ver.2.5.0 にて対策）

- ONVIF での無線接続によるストリーミングができない問題がありましたので、修正しました。
  下記のモデルが対象になります。
  SNC-CX600W
  （Ver.1.7.0 からの問題、Ver.2.5.0 にて対策）
- Genetec 製 Omnicast クライアントソフトとの接続が切れてしまうことがある問題がありましたので修正しました。
  （Ver.1.0.0 からの問題、Ver.2.5.0 にて対策）

4.12. Ver. 2.4.0 で改善した問題点

- カメラへ CGI アクセスした時に、応答が極端に遅くなる、映像が遅延してしまう、映像が取得できない、または再起動してしまう場合がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 からの問題、Ver.2.4.0 にて対策）
- ビデオ出力設定を PAL に設定してカメラを起動させると、NTSC で一時的に出力されてしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.10.0 からの問題、Ver.2.4.0 にて対策）

4.13. Ver. 2.2.1 で改善した問題点

- 画質設定の設定画面において、Visibility Enhancer、露出補正、オートゲイン最大値及びシャッタースピードの選択肢表示が不正になる問題を修正しました。
  下記のモデルが対象になります。
  SNC-VB635
  （Ver.2.2.0 からの問題、Ver.2.2.1 にて対策）

4.14. Ver. 2.2.0 で改善した問題点

- alarmdata.cgi を使用する場合、EdgeStorage の記録を実行する設定にすると、alarmdata.cgi のパラメータに反映される応答時間が数秒遅れる場合がありましたので、修正しました。
  （Ver. 2.1.0 からの問題、Ver. 2.2.0 にて対策）
- EdgeStorage で記録した映像に対して他社クライアントソフトで検索を行うと、正しく検索されない場合がありましたので、修正しました。
  （Ver. 2.1.0 からの問題、Ver. 2.2.0 にて対策）
- バージョンアップを行うと、フォーカスがずれる場合がありましたので、修正しました。
  下記のモデルが対象になります。
  SNC-VM600/VM600B/VM630/VM601/VM601B/VM631
  SNC-EM600/EM601/EM630/EM631
  SNC-VM602R/VM632R
  SNC-EM602R/EM632R
  SNC-EB602R/EB632R
  （Ver. 1.12.0 からの問題、Ver. 2.2.0 にて対策）

4.15. Ver. 2.1.3 で改善した問題点

- 工場出荷設定、及びバージョンアップを行った後で、特定の設定項目に対する設定変更ができなくなってしまう場合がありましたので、修正しました。
  特定の設定項目は下記になります。
  - 「プリセット位置」、「映像・駆動系リフレッシュ」:WR シリーズ
  - 「メール送信」の「異常送信」:E シリーズを除く全機種
  - 「アラーム出力」の「メモリーカード異常検知」:E/C/X シリーズを除く全機種
  （Ver. 2.1.0 からの問題、Ver. 2.1.3 にて対策）
- EdgeStorage で記録した映像に対して Playback Viewer で検索を行うと、正しく検索されない場合がありましたので、修正しました。
  （Ver. 2.1.0 からの問題、Ver. 2.1.3 にて対策）
- PC の時計がサマータイム期間中である時、Playback Viewer のコントロールパネルにおいて、シークバーで設定した時刻から再生できない場合がありましたので、修正しました。
  （Ver. 1.7.0 からの問題、Ver. 2.1.3 にて対策）

4.16. Ver. 2.1.2 で改善した問題点

- デイ／ナイトモードの設定が自動の場合で、ナイト状態で電源をオフにした時、またはデイ／ナイトモードの設定が手動の場合で、ナイトモードに設定して工場出荷設定を行った時、次にカメラが起動した時にデイ状態だった場合でも、IR-CUT フィルターが外れたままになり、映像の色が赤みがかる場合がありましたので、修正しました。
  下記のモデルが対象になります。
  SNC-VM600/VM600B/VM630/VM601/VM601B/VM631
  SNC-EM600/EM601/EM630/EM631
  SNC-VM602R/VM632R
  SNC-EM602R/EM632R
  SNC-EB602R/EB632R
  （Ver. 1.12.0 からの問題、Ver. 2.1.2 にて対策）
- センサー入力に連動したアクション出力で、静止画のメール送信を行う設定にした場合、短時間（1秒以内）に複数のセンサー入力が発生すると、同じファイル名の静止画ファイルを送信してしまう不具合がありましたので、修正しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 2.1.2 にて対策）

4.17. Ver. 2.1.0 で改善した問題点

- 動体検知機能を使用しているときに映像全体で大きな変化があった場合、アラームが数分間出続けるという不具合を修正しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 2.1.0 にて対策）
- Edge Storage 機能を使用して映像の連続記録を長時間行った場合、時刻を指定して再生すると、指定された時刻から映像が再生されない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 2.1.0 にて対策）
- 映像コーデックに JPEG を選択して帯域制限を設定した場合、body 部分が空の映像データが送信されることがあるという不具合を修正しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 2.1.0 にて対策）
- 画像の露出設定においてワイドダイナミックレンジ（View-DR）が無効、デイ／ナイトモー

ドが自動、かつ IR 照射連動がオフの場合、ナイトモードからデイモードに遷移しないことがあるという不具合を修正しました。
SNC-VM632R/VM602R/EM632R/EM602R においてこの問題がありました。
（Ver. 1.8.0 からの問題、Ver. 2.1.0 にて対策）

4.18. Ver. 1.12.0 で改善した問題点

- オーディオ送信機能におけるマイク音量設定が正しく反映されないという不具合を修正しました。Ver. 1.11.0 以前からバージョンアップした際に、マイク音量が大きくなる場合がありますのでマイク音量を設定し直してください。
  SNC-CX600/CX600W においてこの問題がありました。
  （Ver. 1.7.0 からの問題、Ver. 1.12.0 にて対策）
- RTSP でのストリーミングを行う場合、SDP に含まれる profile-level-id に正しい値が反映されない不具合を修正しました。
  SNC-VB635/WR630/WR632/WR600/WR602 以外の全ての機種おいてこの問題がありました。
  （Ver. 1.1.0 からの問題、Ver. 1.12.0 にて対策）
- 画像反転、ワイドダイナミックレンジ（View-DR）、ハイフレームレートのいずれかの設定変更を行った後、再起動されるまで RTSP のストリーミングが正しく行えないという不具合を修正しました。
  SNC-CX600W/CX600VB635/WR630/WR632/WR600/WR602 以外の全ての機種おいてこの問題がありました。
  （Ver. 1.7.0 からの問題、Ver. 1.12.0 にて対策）
- RTP パケットのペイロードが複数のパケットに分割されて送信されるという不具合を修正しました。
  SNC-VB635/WR630/WR632/WR600/WR602/以外の全ての機種おいてこの問題がありました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.12.0 にて対策）
- 画質モード設定で「標準」以外を選択した場合、設定後に「カスタム設定」と表示されることがあるという不具合を修正しました。
  SNCC-CX600/CX600W においてこの問題がありました。
  （Ver. 1.11.0 からの問題、Ver. 1.12.0 にて対策）

4.19. Ver. 1.11.0 で改善した問題点

- 映像に縦筋のノイズが入ることがあるという不具合を修正しました。
  SNC-VB635 においてこの問題がありました。
  （Ver. 1.10.0 からの問題、Ver. 1.11.0 にて対策）
- 電源を入れてから起動完了するまで約 8 分程度かかる場合があるという不具合を修正しました。
  SNC-WR630/WR632 においてこの問題がありました。
  （Ver. 1.10.0 からの問題、Ver. 1.11.0 にて対策）
- Wi-fi ネットワークに接続する際、MTU サイズが 1280 未満になっていると DHCP による自動アドレス取得ができないという不具合がありました。MTU サイズを 1280 以下に設定できないように修正しました。
  SNC-CX600W においてこの問題がありました。
  （Ver. 1.7.0 からの問題、Ver. 1.11.0 にて対策）

- Microsoft Internet Explorer を使用して設定画面を表示する場合、画面の拡大率が 100%で無い時に一部のタブが表示されないという不具合を修正しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.11.0 にて対策）

4.20. Ver. 1.10.0 で改善した問題点

- 本バージョンにおける改善した問題点はありません。

4.21. Ver. 1.9.2 で改善した問題点

- Edge Storage 動画記録において、長時間の記録中、データの一部が記録されない不具合を修正しました。上書き設定を有効にした場合の注意点に関しては 5.7 を参照してください。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.9.2 にて対策）
- カメラ本体の NTSC/PAL 切り替えスイッチを操作して映像出力方式を変更した場合、正しく動作しない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.9.0 からの問題、Ver. 1.9.2 にて対策）
  SNC-EB600B においてこの問題がありました。

4.22. Ver. 1.9.0 で改善した問題点

- Windows の“時計、言語、および地域設定”、“日付、時刻または数値の形式の変更”の“形式”において特定の設定でプレイバックビューアーが使えない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.7.0 からの問題、Ver. 1.9.0 にて対策）
- ビデオコーデックの映像 2、映像 3 の設定において、4Mbps を超えるビットレートを設定するとカメラが再起動する場合があるという不具合がありました。4Mbps を超えるビットレートの設定ができないように修正しました。
  SNC-CX600W においてこの問題がありました。
  （Ver. 1.7.0 からの問題、Ver. 1.9.0 にて対策）
- SSL 接続ではプレイバックビューアーで記録された映像の再生、保存が出来ない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.7.0 からの問題、Ver. 1.9.0 にて対策）
- 起動直後のオーディオアップロードの音量設定が実際の動作に反映されない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.9.0 にて対策）

4.23. Ver. 1.8.0 で改善した問題点

- プラグインフリービューアーにてエリアズームとベクトルドラッグができない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.7.0 からの問題、Ver. 1.8.0 にて対策）

4.24. Ver. 1.7.0 で改善した問題点

- SSL 接続にて動体検知設定、顔検知設定ができない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.6.0 からの問題、Ver. 1.7.0 にて対策）

4.25. Ver. 1.6.0 で改善した問題点

- 本バージョンにおける改善した問題点はありません。

4.26. Ver.1.5.1 で改善した問題点

- Ver1.4.0 以前のバージョンからバージョンアップするときに、追加手順に従わないと画質が低下する不具合を修正しました。
  （Ver. 1.5.0 からの問題、Ver. 1.5.1 にて対策）
- Web server がごくまれに応答しなくなることがある不具合を修正しました。
  （Ver. 1.4.0 からの問題、Ver. 1.5.1 にて対策）

4.27. Ver.1.5.0 で改善した問題点

- ビデオコーデックのパラメータを変更した時の HTTP ストリーミング中断時間を改善しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.5.0 にて対策）
- Edge Storage 動画機能においてプリアラーム記録が動作していない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.4.0 からの問題、Ver. 1.5.0 にて対策）
- 動体検知を利用したアクション出力が動作しない・alarmdata.cgi にて検知結果が正しく通知されない不具合を修正しました。
  この問題は下記条件で発生します。
  SNC-VB600/VB600B/VB630
  SNC-VM600/VM600B/VM601/VM601B/VM630/VM630/VM631/VM631 においてシステムメニュー・設置タブで画像反転を“オン”に設定した場合。
  （Ver. 1.4.0 からの問題、Ver. 1.5.0 にて対策）
- 置き去り検知・持ち去り検知を利用したアクション出力が動作しない・alarmdata.cgi にて検知結果が正しく通知されない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.4.0 からの問題、Ver. 1.5.0 にて対策）
- フォーカス位置が保存されないことがある不具合を修正しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.5.0 にて対策）
- ワイドダイナミックレンジ(View-DR)をオン(設定画面にてチェックをいれた状態)、映像1の画像サイズを 1920x1080 選択した場合、映像 3 の設定ができなくなる不具合を修正しました。
  SNC-VB630/VM630/VM631 においてこの不具合がありました。
  （Ver. 1.4.0 からの問題、Ver. 1.5.0 にて対策）
- ハイフレームレートモードの設定を“システム”メニューの“設置”タブから“ビデオ/オーディオ”メニューの“ビデオコーデック”タブに移動しました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.5.0 にて対策）
- “アクション出力”メニューの“Edge Storage 動画”タブと“Edge Storage 静止画”タブを“Edge Storage”タブに統合しました。
  （Ver. 1.4.0 からの問題、Ver. 1.5.0 にて対策）

4.28. Ver.1.4.0 で改善した問題点

- SSL クライアント認証とビューアー認証を同時にオンにすると ActiveX ビューアーで映像をご覧になることができない不具合を修正しました。
  （Ver. 1.3.0 からの問題、Ver. 1.4.0 にて対策）
- Edge Storage 動画記録において、記録時間が設定より 1%程度短く記録されることがある問題を修正しました。

（Ver. 1.3.0 からの問題、Ver. 1.4.0 にて対策）

- アナログビデオアウト表示において、切り出された映像が黒枠付で表示されていましたが、全エリア黒枠なしで表示するように変更しました。アスペクト比は 4:3 に変更されます。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.4.0 にて対策）

4.29. Ver.1.3.1 で改善した問題点

- H.264 および CBR オンの設定組み合わせにおいて、一定時間以後にフレームレートが低下する不具合を修正しました。不具合が発生するまでの時間は、ビットレート・フレームレート設定値の組み合わせで決まります。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.3.1 にて対策）

4.30. Ver.1.3.0 で改善した問題点

- Edge Storage の Search コマンド結果に実際には記録されていない無効な entry が含まれることがある不具合を修正しました。
  （Ver. 1.2.0 からの問題、Ver. 1.3.0 にて対策）
- Edge Storage のプリアラーム設定について“プリアラーム”設定値と“オーディオ”の“オン”設定を同時に変更した場合、"OK"ボタンを押しても設定が反映できない場合がある不具合を修正しました。
  （Ver. 1.2.0 からの問題、Ver. 1.3.0 にて対策）
- alarmdata.cgi を使用する際に、動体検知の検出結果を検知枠毎に取得することができるようになりました。
  （Ver. 1.1.1 からの問題、Ver. 1.3.0 にて対策）
- SNC easy IP setup プログラムを使ったカメラのポート番号変更にて “Timeout” が表示される問題は、SNC easy IP setup のバージョン 1.0.1 にて修正されました。
  （SNC easy IP setup Ver. 1.0.0 からの問題、Ver. 1.0.1 にて対策）

4.31. Ver.1.2.0 で改善した問題点

- デイ/ナイトの保持時間
  ワイドダイナミックレンジレベルの設定によってデイ/ナイトの保持時間が設定した時間より早く切り替わる問題がありましたので修正しました。
  （Ver.1.1.1 からの問題、Ver.1.2.0 にて対策）
- ビューアー認証
  ビューアー認証の振る舞いに不具合がありましたので修正しました。
  （Ver.1.1.1 からの問題、Ver.1.2.0 にて対策）

5. 設定における注意事項について

5.1. ストリーミングにおける注意事項

- JPEG ストリーミングの帯域制限

“ビデオ/オーディオ”メニューの“ビデオコーデック”タブの“帯域制限”機能は HTTP 呼制御により開始された JPEG ストリーミングに対してのみ有効です。

- Wi-Fi 接続時の注意点

Wi-Fi 接続にて映像ストリーミングを行う場合以下の条件を満たすように映像ストリーミング数を制限するか、または、映像コーデックのビットレート等を設定してお使いください。
映像 1 のみをストリーミングする場合：各ストリーミングのビットレート総和が 6Mbps 以下になるようにする。
映像 1 および 2 をストリーミングする場合：各ストリーミングのビットレート総和が 4Mbps 以下になるようする。
映像 1,2,3 全てをストリーミングする場合：各ストリーミングのビットレート総和が 2Mbps 以下になるようにする。

上記は理想環境での測定結果であり、周囲の環境条件（通信距離，障害物・電子レンジ等の電波環境要素，使用するパソコンの性能等）によって性能が出ない場合があります。

5.2. 画像コーデック設定

- 画像コーデックパラメータを変更する際の注意点

“ビデオ/オーディオ”メニューの“ビデオコーデック”タブにおいて、画像コーデックの選択および各パラメータの変更は、変更しようとしている項目以外のパラメータの組み合わせにより選択できない場合があります。これは、カメラのリソース制約を超えた設定値を選択肢として表示しないためです。希望する設定値が設定値リストボックスにない場合、変更しようとしている項目以外のパラメータの設定値を下げた後、再度希望設定値がリストボックスに現れないか確認してください。”OK”ボタンをクリックすると、メニュー画面上の設定値がカメラに反映されます。

- フレームレートを 60 または 50 fps に設定してカメラをご使用になる場合、ビデオ/オーディオ設定画面の下記タブを開いていると映像の遅延がおおきくなることがあります。
  - 画像タブ
  - フォーカスタブ
  - スーパーインポーズタブ

- フレームレートを 60 または 50 fps に設定してカメラをご使用になる場合、ビットレートは 8Mbps 以下でお使いください。
- フレームレートを 60 または 50 fps に設定してカメラをご使用になる場合、画像コーデック 2 やオーディオを有効にする・複数のクライアントアプリケーションにストリーミングを行う、等の条件下にて以下の症状が発生することがあります。
  - 映像の遅延がおおきくなる
  - 映像再生時にフレームスキップが生じる。

- 音声が途切れ途切れになる。
- さまざまなコマンドに対しカメラの応答が遅くなる。

このような場合ビットレートを下げる・画像コーデック 2 をオフにする・同時配信ストリーミング数を減らす・オーディオをオフにするなどの対応を行ってください。

- フレームレート 60 または 50 fps で使用しているとき、動体検知を有効にすると映像が遅延することがあります。

- 画像コーデックを 3 種類設定する際の注意点
  画像コーデック 3 種類すべてを有効に設定する前に、設定画面システムメニュー・設置タブにおいて
  ハイフレームレートを“オフ”
  を選択し”OK”ボタンをクリックしてください。この設定変更は 20 秒程度かかります。
  ご注意：この設定変更を行う前に、カメラ映像・音声を描画しているすべてのアプリケーション、ウェブブラウザを閉じてください。

5.3. センサー入力に関する注意事項

- センサー入力に接続する信号は最低 2 秒状態を保持してください。
  保持時間が短いとイベントの検出漏れが発生する可能性があります。
- SSL 接続にて映像ストリーミングを使用する場合
  ビットレート設定は 1Mbps 以下、フレームレートは 30fps 以下、同時映像ストリーミング数は 2 以下で使用してください。この条件をみたさない場合、センサー入力イベントの検出漏れが発生する可能性があります。

5.4. メモリーカードに関する注意事項

- メモリーカードの挿抜について
  - メモリーカードの挿抜を行う場合、カメラの電源を落とした状態で行ってください。
  - メモリーカードをカメラから取り外す前に“アクション出力”メニューの“実行条件”タブの“Edge Storage”を“オフ”にし、10 秒以上待ってからカメラの電源をオフにしてください。
- メモリーカードのフォーマットについて
  - メモリーカードをご使用になる前には必ずカメラでフォーマットを行ってください
  - Ver. 1.10.0 以前をお使いの場合で、上書き設定を有効にして静止画または動画を記録する場合は、SD アソシエーションから提供されている SD フォーマッターでフォーマットしてからご使用ください。SD フォーマッターは SD アソシエーションの Web サイト（https://www.sdcard.org/jp/home）からダウンロードしてください。
  - Ver 2.1.0 以降のバージョンでフォーマットした 64GB の SD カードは、Ver 2.1.0 より前のバージョンのカメラでは使用できません。
  - Ver 2.1.0 以降のバージョンで 500 件を超えて記録された SD カードは、Ver 2.1.0 より前のバージョンのカメラでは使用できません。

5.5. Edge Storage に関する注意事項

- H.264 を記録する場合以下の設定にしてください。
  - “ビットレート”を 2Mbps 以下にする。
  - “フレームレート”を 30fps 以下にする。

- “Iピクチャー間隔”を 1 秒にする。

- 画像サイズ 1280x720 以上で JPEG を記録する場合以下の設定にしてください。
  - “フレームレート”を 1fps にしてください。
  - SNC-VB600/VB600B/VM600/VM600B/VM601/VM601B/VM602R/CX600W/CX600/WR600/WR602/WR602C:
    “画質設定”5 以下にしてください。
  - SNC-VB630/VM630/VM631/VM632R/VB635/WR630/WR632/WR632C/XM631/XM632/XM636/XM637:
    “画質設定”2 以下にしてください。
- 記録する際には画像コーデック 2 および 3 をオフに設定してください。
- 手動記録を利用する場合、“アクション出力”メニューの“実行条件”タブの“Edge Storage”を“オフ”以外に設定してください。
- カメラに映像・音声を記録している最中に、カメラの記録データをストリーミングすると音声再生が途切れ途切れになる場合があります。このような場合、ストリーミングを 2 本以上同時に動作させない・映像・音声の記録を停止してから再生する等の対応をしてください。
- 映像・音声記録データ上フレームスキップ・音途切れなどが生じる場合、記録中のストリーミングが 2 本以上になっていないか確認してください。
- Edge Storage の記録データは RTSP プロトコルを利用して再生することを想定しています。
- 画像コーデックを H.264 の VBR(CBR オフ)設定にして記録する場合、記録する設定、シーンにより記録データが非常に大きくなり映像フレーム抜け・音途切れが発生することがあります。実運用前にコーデック設定・環境を確認してください。
- Ver.1.7.0 より前のバージョンから設定を引き継いでお使いの場合、フル権限に設定したユーザーがプレイバックビューアーをご利用になれません。ユーザー設定画面において、利用許可したいユーザーについて“プレイバック”項目のチェックをつけて設定しなおしてください。

5.6. 動体検知・VMF(置き去り・持ち去り検知を含む)について

- 動体検知・VMF 動作中にフォーカス調整や画像調整を行うと誤検知する場合があります。これら調整は動体検知・VMF をお使いになる前に行ってください。
- 照明変化などの外乱を誤検知することがあります。あらかじめ動作テストを行い、正常に動作することを確認してください。
- 背景映像と置き去り・持ち去り検知すべき物体の輝度情報が近い場合、置き去り・持ち去りを取り違えて判定するとこや、失報することがあります。あらかじめ動作テストを行い、正常に動作することを確認してください。
- 動体検知動作中にフォーカスリフレッシュ機能を実行すると、誤検知する場合があります。スケジュール設定で実行する場合には、あらかじめ動作テストを行ってください。

5.7. SNMP について

- Link local address が Authentication failure における agent-address として通知されます。
- カメラを DHCP・SNMP v1 の組み合わせで設定した場合、Link local address が Cold start トラップの agent address として通知されます。
- SNMP v3 でサポートしている認証方式は MD5 のみです。

- SNMP v3 では起動直後の Cold start と Link up のトラップは取得できません。

5.8. CGI を直接利用する時の注意点

ビットレート、タイムゾーン設定等において、設定画面 GUI がサポートしていない値を、カメラに CGI を使用して設定した場合、設定画面 GUI では設定した値を正しく表示することができません。このような場合、CGI の問い合わせコマンドを使用して設定した値を確認してください。

5.9. 画質モード選択時の注意点

カメラの NTSC/PAL 設定を変更した場合、必ず Web ブラウザを立ち上げなおしてから画質モード選択をご利用ください。立ち上げなおさない場合間違った設定値がカメラに反映されることがあります。

5.10. Wi-Fi 接続時のネットワーク設定について

Wi-Fi 接続時に SNC toolbox からネットワーク設定を行う場合、アクセスポイント等の設置状況により設定に 30 秒以上かかる場合があります。この場合カメラに設定が保存されますが toolbox 上にエラーが表示されます。必要に応じクイックスタートガイドの補足を参照し対策を行ってください。

5.11. 設定変更時の PTZ 位置に関する注意点

ビデオ出力またはハイフレームレート設定を変更すると、カメラの PTZ 位置が HOME 位置に移動します。この場合、設定変更後に PTZ 位置の調整をしてください。
下記のモデルにおいてこの制約が生じます。
SNC-WR630/WR632/WR600/WR602/WR632C/WR602C

5.12. プリセット位置設定に関する注意点

オートフリップをオンの状態でプリセット位置を設定した場合、呼び出し時に登録した位置から Pan、Tilt 位置がずれることがあります。このような場合はオートフリップをオフにした状態でプリセット位置の登録を行ってください。
下記のモデルにおいてこの制約が生じます。
SNC-WR630/WR632/WR600/WR602/WR632C/WR602C

5.13. 自動レート制御設定に関する注意点

自動レート制御では最大値、最小値が設定可能ですが、設定されている画像サイズ、撮影シーン、ネットワーク環境などによっては、実際に配信されるビットレートは設定を上回る、または下回る場合があります。

5.14. HTTPS を使ったバージョンアップに関する注意点

HTTPS でバージョンアップを行うとアップデートが完了しないことがあります。
その際には HTTP で再度バージョンアップを行ってください。

5.15. FTP 静止画送信機能に関する注意点

- プリセットツアー連動で FTP 静止画送信を行う場合、パン、チルト、ズームがプリセット位置に移動した後、フォーカスが合焦する前に静止画が送信されることがあります。

この場合は、フォーカスモードを手動に設定してください。
下記のモデルにおいてこの制約が生じます。
SNC-WR630/WR632/WR600/WR602/WR632C/WR602C

- アクション入力のイベントが短い周期で複数回発生しても、静止画の FTP 送信を 5 秒間は行いません。

5.16. Iピクチャ間隔の設定に関する注意点

I ピクチャ間隔を“フレーム”で選択する場合、I ピクチャ間隔が 5 秒より大きくなる場合があります。EdgeStorage 機能を同時に使用する場合は、I ピクチャ間隔は 5 秒以下にする必要があるため、“フレーム”を“フレームレート”で割った値が 5 より大きい場合は、EdgeStorage 機能を有効にできません。

6. 既知の問題点について

6.1. ユニキャスト・マルチキャストポート番号設定における注意事項

“ビデオ/オーディオ”メニューの“ストリーミング”タブにおいて、“マルチキャスト配信機能”に設定されているポート番号を“ユニキャスト配信機能”のポート番号に設定することはできません。同様に、“ユニキャスト配信機能”に設定されているポート番号を“マルチキャスト配信機能”に設定することもできません。
“ユニキャスト配信機能”と“マルチキャスト配信機能”それぞれのポート番号を同時に変更しようとする場合、それまで使用していたポート番号を異なる配信機能の番号に設定しようとすると設定が反映されません。この場合、“ユニキャスト配信機能”のポート番号、“マルチキャスト配信機能”のポート番号を分けて設定してください。

【例】
“ユニキャスト配信機能”ビデオポート 1=50000
“マルチキャスト配信機能”ビデオポート 1=60000
に設定されているとき
“ユニキャスト配信機能”ビデオポート 1=60000
“マルチキャスト配信機能”ビデオポート 1=50000
の設定変更が一度にできません。

“ユニキャスト配信機能”ビデオポート 1=50100
に一旦変更したのち
“ユニキャスト配信機能”ビデオポート 1=60000
“マルチキャスト配信機能”ビデオポート 1=50000
へ変更してください。

6.2. ソニー製レコーダーと接続してお使いになる場合の注意事項

画像コーデックを H.264 に設定し“CBR”を“オフ”にしてお使いの場合レコーダーバージョン V1.6.1 以降をお使いください。

6.3. Easy Focus 実行時の注意点

設定画面の映像の更新が停止することがあります。この場合、“フォーカス/ズーム”タブをマウスでクリックし画面をリロードしてください。

6.4. アナログビデオ出力に関する注意点

映像1の画像サイズを 1920x1080 に設定し、“ハイフレームレート”を“オン”に設定するとアナログビデオアウト出力は自動でオフになります。
下記のモデルにおいてこの制約が生じます。

SNC-VB630/VM630/VM631/VM632R/VB635/VB632D/VB640/VB642D/VM641/VM642R/EB640/EB642R/EM641/EM642R

6.5. パノラマパネルを使った操作に関する注意点

パノラマ画像をパノラマパネルに表示させている場合、パノラマパネルの上下端付近でクリックしてもカメラのパン･チルト位置が変更できない箇所があります
下記のモデルにおいてこの制約が生じます。

SNC-WR630/WR632/WR600/WR602/WR632C/WR602C

6.6. ビデオ出力設定変更後のプライバシーマスク表示に関する注意点

プライバシーマスクを表示させている状態でビデオ出力設定を変更した場合、マスクが表示されないことがあります。この場合、カメラを再起動してください。
下記のモデルにおいてこの制約が生じます。

SNC-WR630/WR632/WR600/WR602/WR632C/WR602C

6.7. Playback Viewer で再生する時の注意点

サマータイム期間内にEdgeStorageで録画された映像を、サマータイム期間外にPlayback Viewer で再生すると、再生の表示時刻が１時間戻ることがあります。
また、サマータイム期間外に録画した映像を、サマータイム期間内に Playback Viewer で再生すると、表示時刻が１時間進むことがあります。

6.8. Plug-in free Viewer を使用する時の注意点

Plug-in free Viewer でエリアズームを使用する場合は、ビデオコーデック設定の映像 2 をオフから H.264 あるいは JPEG に選択してください。
下記のモデル以外、かつ Ver 2.2.1 のみにおいて、この制約が生じます。

SNC-WR630/WR632/WR600/WR602/WR632C/WR602C/EM602RC/EM632RC

6.9. ビットレート制御モードを使用する時の注意点

本機では、ビットレート制御モード CBR の場合、制御におけるフレームスキップは常に不許可でお使いいただく仕様想定ですが、一度、"ビデオコーデック"タブにおいて、"ビットレート制御モード"を"VBR"にし"最大ビットレート制限"をかけて"フレームスキップ許可"を有効に設定した状態から"ビットレート制御モード"だけを"CBR"に変更した場合、"フレームスキップ許可"の設定が有効のままになってしまいます。
このような際は必ず事前に"フレームスキップ許可"を無効にしてから"CBR"への変更を行って下さい。
（補足：CGI パラメータ"H264FrameSkip1,2,3" の設定が "CBR1,2,3"の"on"/"off"状態に関わらず反映されてしまっております。CBR の場合("CBR1,2,3"が"on")は必ず各々対応する"H264FrameSkip1,2,3"を"off"にしてご使用下さい。）
（Ver 2.1.0 からの問題）

6.10. SSL 機能を有効に設定している場合にアップグレードを行うときの注意点

アップグレードを行うときは、SSL 機能を無効にしてください。
デバイスの SSL 機能が有効の場合、デバイスに対する操作が正常にできないことがあります。その場合は、SSL 機能を無効にするようにお願いします。
対象外のバージョンへアップグレードした後は、SSL 機能を有効にすることで、SSL 機能が正常に動作するようになります。
対象となる機種とバージョンは以下の通りです。
対象機種：対象バージョン
全機種：Ver 2.7.0 - Ver 2.8.0